



うさぎぐみだより

2019年10月1日

だんだんと涼しくなり、夏のセミの声から秋の虫たちの鳴き声が聴こえてくるようになりました。夏は暑くてなかなか散歩に出かけられませんでした。この頃は気候が良くなり、身体を動かしたり、公園の中を探索したりするにはよい季節です。これから、子どもたちがどんな体験をして何を発見するのか…一緒に遊び楽しんでいきたいと思ひます。

【10月の予定】：

- 8日(火) 避難訓練
- 9日(水) 身体測定
- 11日(金) 歯科検診
- 26日(土) あそび会
- 31日(木) 秋の健康診断

【お願い】

気候によって衣服の調節を行います。長袖のTシャツをご用意ください。

小さな研究者たち

先月に、子どもたちが水道に群がり研究をしていることをお伝えしました。1、2ヶ月ぶりにけやき橋公園に行くと、もちろん水道に群がります。しかし、以前までは、どうやったら水が出るのかと…研究をしていましたが、今回はひねる水道も数名が出せるようになり、バネが入っている蛇口をひねります。保育者が大切な水道だからここで遊ぶことはやめようね…と声をかけ他の遊びに誘っても、バネの力で水が勢いよく出るので子どもたちは大喜びです。ところ変わって、中央公園の水道(昔ながらのひねる蛇口)では、バネが入っていないせいかけやき橋公園で水が出せた子も水が出せません。そんな中、けやき橋公園ではまだ水を出せないしちゃんが入らと来て軽々ひねって水を出します。皆の「どうやったの?!」と言わんばかりの表情でした。指先の使い方や力加減が子どもたちにとっては難しいようで、日々の遊びの中でつまむ、掴む、握る等、指先を使っていけたらと思ひます。

【10月のねらい】

- ・秋の季節を感じる。
- ・親子行事(あそび会)を楽しむ。

中央公園にて

先日、中央公園の中をブラブラ散歩してきました。坂道、階段、でこぼこ道など様々な道があり、歩きなれない子どもは身体がふらついてしまったり、つまずいて転んでしまったりしてしまいましたが、手をパンパンと払いたくましい姿。落ち葉や枝を見つけたり、道にあるマンホールに穴が開いていることに気づいたりして興味がどんどん広がり泣いてなんていられません。また、普段、散歩車に乗ってみる景色とは違い、一人ひとりの視線の先にある発見で立ち止まり観察できる醍醐味があります。カメは普段よりも大きく見え、ショベルカーも子どもたち一人ひとりのペースでじっくり見上げます。木の下に開いている大きな穴(蟬の幼虫が出て来たであろう穴)と小さい穴(アリの巣)を発見。まずはそこに落ちている棒でほじってみます。特に変化がなく、ふっと目の前の木に目を向けると木の皮に「なんだらう?」と思ひ手を触れます。それが、剥かれてしまいました。するとそこにはたくさんの小さいアリたちがいてじっくり観察してきました。何気なく歩く道でも、歩くことで小さな発見があったり、坂道やでこぼこ道では自然と体を使い、体の使い方を体得できたりします。お散歩を通してそんな楽しみ方を続けていきたいです。

こぐま組ってすごい!

けやき橋公園の滑り台へ向かう動線は3カ所あります。1つは普段からよく使う足をバーにかけて登っていくもの、2つ目はボルダリング、3つ目はロープをつたったり、登ったりして滑り台まで行くものです。3つ目のロープは子どもたちには難易度が高く、今までロープに触れる程度でした。そんな中、先日こぐま組が後からやってきました。こぐま組は軽々ロープに足をかけて登り、つたっていきます。それを目の当たりにしたRちゃん。その様子をじっと見ています。すると、自らロープに足をかけチャレンジしようとする。体のバランスを取ろうとしたり、こぐま組が来たりするとロープが揺れてしまい、怖くて動けません。しかし、「やってみよう!」という気持ちが強く降りようともしません。時間をかけて2段登り、1歩1歩横移動をして滑り台の入口に向かいます。やっとの気持ちで滑り台へ到着!Rちゃんは1つ自信をつけて、再チャレンジをしていました。

そして、その次の時。今度はKちゃんがチャレンジしようとする。揺れるロープが怖く、足の裏や膝が痺につかず苦戦します。登ってみたいという気持ちはあり「のせて!」と言わんばかりに訴えます。保育者が身体を持ち上げてのせてあげるのは簡単ですが、やりたい気持ちがあるのだから自分の力だと思ひ、のせてあげるのではなく、揺れるロープをしっかりと引張り手助けをしました。何回もロープを握って痺に踏ん張ろうとします。たくさん、たくさん頑張ってやっと痺に登ることが出来た時。Kちゃんは達成感ある最高の表情をしていました。また、これから、繰り返しやっていくうちに体で登り方を覚えていくことでしょ。

今月のお便り担当：